



中野 正剛議員

Q

図書館保有の磁気テープや映画フィルムを今後、どう扱うのか



A

郷土に関する貴重な資料はデジタル化を考えている

その他の質問

- ・ 5歳児健診について
- ・ ノーコードツール(※)を活用してはどうか

Q 磁気テープや映画フィルムは今後も保有し続けることはできるのか。

A 現状のまま保有し続けることはできるが、経年劣化により再生ができなくなる可能性がある。

Q どうしても保管しておかなければならない資料はどれくらいあるのか。

A 井伊直弼公の生涯を描いた小説「花の生涯」を映画化した16ミリフィルムや本市の古い街並み、彦根城が撮影されたものなど、郷土に関する資料31本を保管する必要がある。

Q 今後、磁気テープや映画フィルムをどう取り扱っていくのか。

A 郷土に関する貴重な資料については今後も保存し続けたいが、経年劣化が懸念されることからデジタル化を考えている。しかし、著作権の問題やそれにかかる費用の確保などがあるので、こうした課題解決に向け模索していきたい。

※ノーコードツールとは、プログラミングの知識や技術がなくても、利用者がマウス操作等により、アプリケーション等を開発できるツールのことです。



▲彦根市立図書館が保有する視聴覚資料



和田 一繁議員

Q

歩行者利便増進道路制度とは



A

道路占用許可の基準が緩和され、多様な道路空間の活用が可能

その他の質問

- ・ 国スポ会場周辺のにぎわいの創出について
- ・ インバウンド戦略について
- ・ 令和8年放送の大河ドラマ「豊臣兄弟！」について

Q 歩行者利便増進道路制度とは。

A にぎわいのある道路空間創出のために「歩行者の利便増進を図る空間」として道路管理者が区域を定めることで、道路占用許可の基準が緩和され、テラス席の設置やイベントなど、多様な道路空間の活用が可能となる制度。

Q 彦根駅西口から平和堂H A T Oスタジアムまでの歩道にはこの制度の活用は可能か。

A 指定要件の一つに、「歩行者の安全かつ円滑な通行を確保するための十分な有効幅員を確保できること」とあり、歩行者空間の幅員を2m以上確保する必要がある。彦根駅西口から平和堂H A T Oスタジアムまでについては最大約2.5mの「歩行者の利便増進を図る空間」を設けることができる状況であり、活用方法が限定的になる懸念点はあるが、制度としては活用できる。



▲歩行者利便増進道路（ほこみち）のイメージイラスト
出典：国土交通省ウェブサイト



小川 吉則議員

Q 「滋賀県車いす使用者等用駐車場利用証制度」の対象者は

A 歩行が困難で移動に配慮が必要な人々が対象者となる



その他の質問

- ・こども誰でも通園制度について
- ・市立病院のレスパイト入院(※)について

Q 「滋賀県車いす使用者等用駐車場利用証制度」の対象者は、どのような方となるか。

A 対象者は、歩行が困難で移動に配慮が必要な人として、障害者手帳の交付を受ける障害のある人、難病患者、要介護高齢者、産後2年または3年の方を含む妊産婦等、けが人などとされている。

Q 障害者等用駐車区画の不適切な利用を防ぐためには、どのような対応となるか。

A 駐車区画の不適切と思われる利用があった場合は、施設管理者が不適切利用をしている人へ正しい駐車区画の利用を促したり、注意喚起チラシを車両ワイパーに挟んで、正しい理解を求めたりする。

Q 金亀公園駐車場の有料化に伴い、障害者等の方々の利用時に料金の減免等の考えは。

A 障害者等の方々の駐車場利用時は、駐車場使用料を全額免除する予定。

※レスパイト入院とは、在宅介護を担う家族や介護者の休養を目的とした短期入院のことです。



▲彦根市役所の「障害者等用駐車区画」



馬場 和子議員

Q #7119の導入を本年10月に控え、彦根市としての準備状況は

A 令和7年度当初予算に計上しており、使い方等についての広報に努める



その他の質問

- ・現清掃センターの延命措置と新施設整備スケジュールとの関係性は
- ・和田市政1期目の総括と具体的な施策の方向性は

Q 「119番です。火事ですか？消防ですか？」と緊急通報に応答し適切に救急車や消防車の出動を指令する仕組みで、通報者の声を聴き、声で命を救う仕組みで救命の始まる最初の現場であるエマージェンシーコール。彦根消防では本署1階の通信指令課がその役割を担っているが、滋賀県が事業主体であり費用は人口割で市町と折半、通話料は利用者負担となる#7119が本格導入されるにあたり、彦根市での体制等の準備状況は。

A 令和7年10月からの運用に向け、当初予算にて費用を計上している。

市民に#7119がどのようなもので、どんな時に、どう使うのかを知っていただくために、ホームページやSNS等での恒常的な広報と運用直前には広報ひこねなども活用して広報に努めていく。



▲彦根市消防本署1階の通信指令室の状況



堀口 達也議員

Q ふるさと納税の実績と目標は

**A 約15億2千万円を突破！
令和7年度目標は17億円**



その他の質問

- ・映画のまち・彦根について、映画やロケ誘致の実績は
- ・生徒会長公約実現事業の目的や期待する効果は

Q ふるさと納税の実績と今後の目標は。

A 令和6年度のふるさと納税寄附額は、令和7年2月24日時点で約15億2千万円。人気返礼品は、電気シェーバーや電動歯ブラシ（約7億円・全体の45%）、ビールなどの酒類（約4億4千万円・29%）、近江牛などの精肉（約1億5千万円・10%）。令和7年度の目標は17億円で、新たな返礼品の開発やPR強化を推進する。

Q 四番町スクエアの黒字化の要因は。

A 令和4年度以降黒字に転じ、令和5年度の売上高は3億円を突破。令和6年度は12月末時点で昨年同期比1.2倍の約2億6千万円を計上し、過去最高売上が見込まれる。黒字化の要因は、ひこにゃんショップのグッズ売上と、ふるさと納税返礼品のビールなどの好調な売上によるもの。



▲彦根のふるさと納税の人気返礼品（イメージ）



長崎 任男議員

Q 彦根市図書館中央館建設は彦根市清崎町地先で間違いないか

A 亀山学区の清崎町地先に整備することに変更はない



その他の質問

- ・彦根市SNSによる情報発信について
- ・公式SNSの収益は
- ・ふるさと納税との関係性は
- ・シティマラソンに影響しているのでは

Q 令和7年の当初予算を拝見すると、市税総額は前年度より増加であるが、多くの事業が見直しや廃止になっており厳しい財政であることがわかる。将来的な話になるが、彦根市図書館中央館の計画はどうなっているのか。

A 令和5年3月に改訂した「彦根市図書館整備基本計画」に示しているとおり、計画に変更はない。

Q 財政状況が改善したら中央館建設に着手するのか。

A 財政状況が好転し財源の確保ができるまで延伸するが、早急に着手できるように努めることに変更はない。

Q 中央館建設は彦根市清崎町地先で間違いないか。

A 彦根市図書館整備基本計画では中央館の整備場所について、市において決定された亀山学区の清崎町地先に整備することと示しており、変更はない。



▲中央館建設を待ち望む清崎町地先